

ご存知ですか？

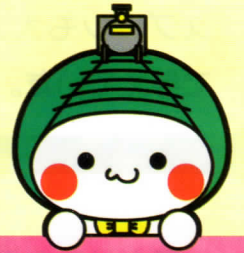
昔の子育て・今の子育て

子育てを取り巻く情報は多様にあり、更に変化・進歩するため祖父母世代の子育ての常識と子育て世代の常識にギャップが生じやすくなります。

子育ての常識の違いをお互いに理解し協力しあって、子どもの健やかな成長にかかわることができれば素敵ですね。



昔の常識



今の常識

抱っこをしすぎると、抱きぐせがついてしまう。赤ちゃんが抱っこを求めてすぐ泣くようになる。



抱っこ

赤ちゃんにとって抱っこは心の成長にとっても大切。抱きぐせを心配せずにたくさん抱っこしよう。



頭の形がよくなる。
寝つきがよくなる。



うつぶせ寝

乳幼児突然死症候群（SIDS）から赤ちゃんを守るため、医学上の理由がない場合は「あおむけ寝」が推奨されている。



3時間おきに授乳するとよい。



授乳の間隔

母乳の場合は赤ちゃんが欲しがったら授乳する。ミルクの場合は、3時間が目安。

母子健康手帳に「1歳までに断乳完了」という記載があった。



卒乳

自然とおっぱいから離れていくまで授乳しても問題ない。母乳の終わりは「卒乳」と表現されている。

3、4か月から離乳食の開始とされており、果汁をスプーンで与える（味慣らし、スプーン慣らし）をした。



離乳食の進め方

生後5か月前後になると、形になった食物をなめたり、かんだり、飲み込んだり消化吸収する能力が発達してくる。離乳食開始は5～6ヶ月くらいの時期からでよい。